



学校だより

おつひ

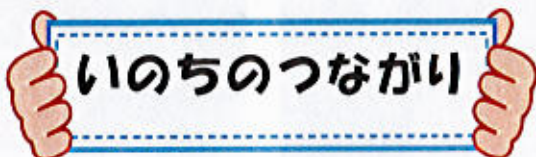
半田市立乙川東小学校

第10号

令和7年12月23日

発行責任者：福島 富美

校訓 たくましく 心ゆたかに 大きくのびよう



4月から「いのち」について子どもたちに話したり、「いのちのカード」で子どもたちの気持ちを聞いたりしてきました。そのカードに「いのちはつながりだと思います」と書いてくれた6年生の子がいました。子どもたち一人一人にいのちのつながりを実感してほしいと思い、2学期の終業式で一つの提案をしました。

(前略) その頃のことを思い出して、自分の親戚の数を数えてみました。

まず、私のきょうだいは3人で、その子どもたちが6人。お父さんお母さんは2人で、おじいちゃんおばあちゃんは4人、ひいじいちゃんとおひいばあちゃんは8人。おじさんとおばさんは21人。従兄弟は20人。従兄弟たちにはそれぞれ子どもがいて、その数はなんと33人。これには本当はまだまだ続きがあって、私は、すごくたくさんの人とつながっているんだなあ、と思いました。

みなさんが書いてくれたいのちのカードに、「いのちはつながりだと思います」と書かれていたことや「いのちは自分だけのものではない」「いのちがおわるまで精一杯生きよう」と書いてあったことを思い出しました。

親戚のことだけ考えても、自分のいのちはたくさんの人とつながっています。自分のいのちなくなることで、そのつながりを切ってしまうのかもしれない。そう思うと、いのちが終わるときまで精一杯生きよう、と私も思えてきました。

さあ、冬休みの間に、みなさんも自分とつながっている親戚の人の数を数えてみませんか。

2学期終業式 校長の話より

実は、このつながりは、いくつもある「いのちのつながり」の一つです。以前、6年生の国語の教科書に「生き物はつながりの中に」(著：中村桂子)という説明文がありました。そこには、『生き物は、外の世界とつながり、一つの個体としてつながり、長い時間の中で過去の生き物たちとつながるというように、さまざまなつながりの中で生きている』と述べられています。そして、『あなたは過去の全てとつながり、未来へもつながっていく存在なのです。また、地球上の他の生き物ともつながっています。』と読者に呼びかけています。

さまざまな機会に、子どもたちに「いのちのつながり」を実感してほしいです。

学校だより「おつひ」はHPにも掲載しています。ご活用ください。

乙川東小学校HP <https://www.okkawahigashi-e.ed.jp/>



乙東っ子

さまざまな体験活動や行事
で学びます。皆様、ありが
うございました。



1年生:あきのおもちゃ屋さん



2年生:給食招待会



大縄大会:みんなでリズムをとって



4年生:和楽器体験



5年生:しめ縄作り



大縄大会:6年2組優勝!450回!おめでとう



3年生:警察の仕事を学びました



6年生:お琴の体験